

かとうぜきかいらんぼん 可動堰回覧板

平成22年7月1日号 (No.60)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

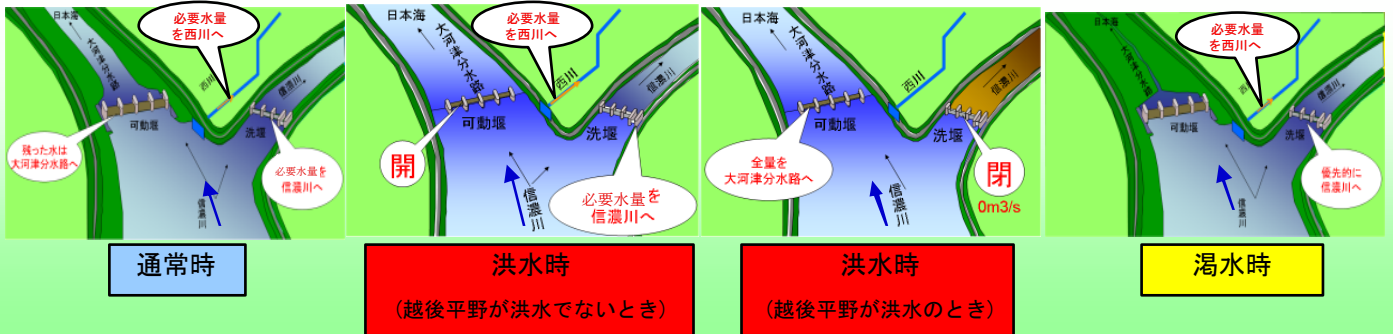
回覧

今回は、可動堰の役割と可動堰のメインパーツとなるゲートの検査状況についてお知らせします。

可動堰の役割

大河津分水は、通常時及び洪水時（越後平野が洪水でないとき）には、洗堰から信濃川下流域へ、生活用水、かんがい用水、工業用水などに必要となる水量を流し、それ以上の水は可動堰から分水路を通じて、日本海へ流します。越後平野が洪水の時は洗堰を閉じ、全量を分水路から日本海へ流します。また、渇水時には可動堰を閉じ、洗堰を開け信濃川下流域へ水を流します。

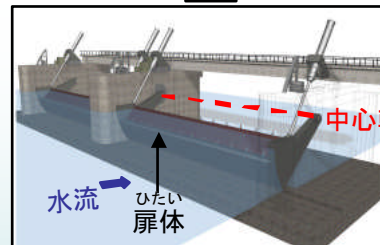
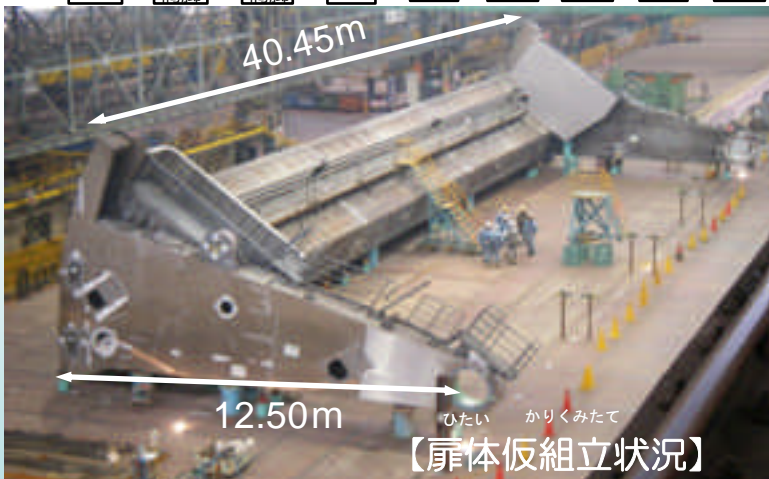
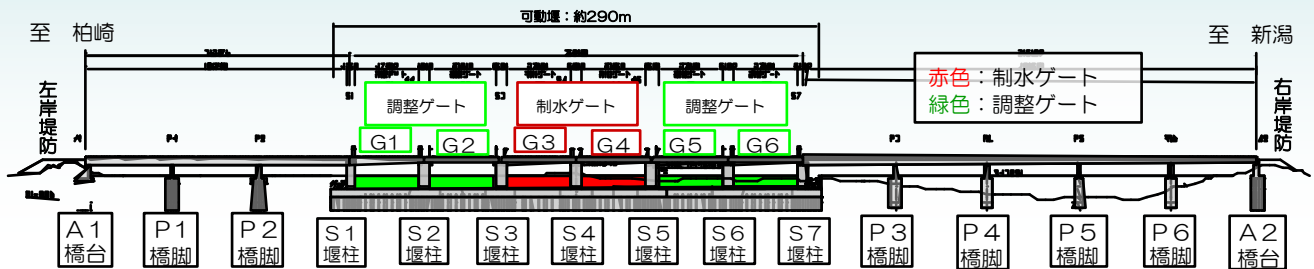
このように、可動堰は洗堰と連携して洪水が下流域へ流れるのを防ぎ、越後平野を水害から守ると共に、必要な水を信濃川下流域へ供給する役割をもっています。この可動堰の老朽化が進み、今回の大河津可動堰改築事業が始まりました。



ゲートの仕組み

大河津可動堰のゲートは、全部で6門あり、分水路への放水量が少流量のときに左右4門の調整ゲートを使用し、放水量が多くなると制水ゲートを含めた全門での操作となります。

ゲートは、中心軸を設け、ゲートを上下させる仕組みのゲート（ラジアルゲート）でこの形式では国内最大級のゲート設備です。



※ 扉体とは川の水を直接受け止める部分で、上下することで水を流したり、水を止めたりします。

ゲートが開いている時のイメージ図

ゲート製作の検査状況

今回、扉体^{ひたい}について、設計どおりの材料、寸法で製作されているかどうかを愛知県知多市にある工場^{ちた}にて現地で設置される物と同じ状態で検査を行いました。

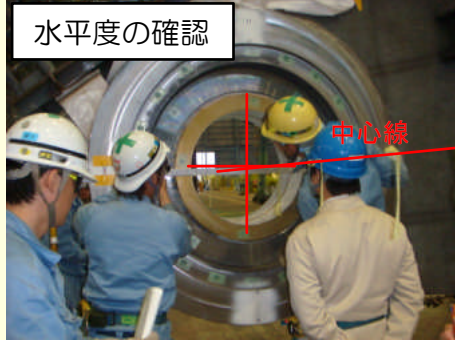
検査の結果、材質や寸法、溶接などが設計どおりに行われていることが確認できました。検査を行った部分は、塗装後、順次、現場に搬入して設置する予定です。

寸法の確認



設計通りの寸法値でゲートが製作されているかを確認しています。

水平度の確認



40m離れた位置での中心線との差を確認中。その差は1mmで、高い精度が求められる箇所です。

溶接状況の確認



放射線（X線）を使用し、溶接箇所^{ちた}の透過写真を撮影して、溶接内部に欠陥がないかを確認します。
※ 本設備の溶接は、部材に熱を加え、部材同士を接合します

第2回 可動堰現場見学会

建設が進む新可動堰の様子を皆様にご覧頂くため、下記のとおり可動堰現場見学会を実施します。是非ご参加下さい。

記

- 主催 大河津可動堰改築事業工事連絡協議会
(構成会社：大成・東急・岩田地崎特定建設工事共同企業体、(株)IHインフラシステム、駒井鉄工(株))
- とき 8月28日(土) 見学時間 10時～11時30分(9時50分まで集合して下さい)
- 集合場所 大成・東急・岩田地崎の現場事務所 駐車場(図参照) ※徒歩にて見学場所まで移動します。
- 募集人員 40名(無料)(先着順)
※定員に達し次第、締め切らせて頂きます。
- 募集期間 8月2日(月)～8月27日(金)
- 申込方法・問い合わせ 電話・FAX
申込先等：大成・東急・岩田地崎特定建設工事共同企業体
TEL：0256-98-5663
FAX：0256-98-5664
※FAXでの申込の場合は、氏名、住所、連絡先、参加人数を記入して下さい。
- その他 雨天や洪水などの場合は、中止することがあります。
服装、履物は汚れても構わないものでお願い致します。



大河津可動堰情報館ホームページから、毎月1日には可動堰回覧板の最新号をご覧頂けます。また、バックナンバーも合わせてご覧頂けます。アドレスは「<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>」です。

『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。
0258-32-3134 (平日 AM9:00～PM4:00)

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121 (建設監督官在所)
大河津出張所 : 大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等
建設監督官(可動堰改築担当): 大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

大河津可動堰情報館
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>

信濃川大河津資料館
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/index.html>